

平成21年度「専修学校を活用した就業能力向上支援事業」成果報告書

コース名	若者対象コース		
事業名	発見！ 社会の入り口体験講座		
法人名	社団法人大阪府専修学校各種学校連合会		
学校名			
代表者	会長 福田 益和	担当者 連絡先	事務局長 西脇 康則 TEL 06-6353-0048
1. 事業の目的			
<p>(1) ニートをサポートする(財)大阪労働協会大阪府若者サポートステーション、大阪労働局、大阪府、大専各等の関係機関で構成する連絡協議会を設置し、ニートが置かれた状況に応じた専門的な相談や社会の入り口を体感させる体験講座を実施し、ニートの再就職につなげていくための支援を推進する。</p> <p>(2) 大阪府域のニートサポート事業を統括する(財)大阪労働協会大阪府若者サポートステーションのカウンセラー11名を自立支援アドバイザーとして配置し、ニートが希望する職業に就くための進学相談や専修学校において学習する上での学習相談等の適切なアドバイスをを行い、専修学校が実施する体験講座への参加誘導を推進する。また、自立支援アドバイザーはニートに対して、カウンセリングの中で、現在の状況を確認するほか、体験講座後の就職・入学等に関してアドバイス・フォロー等を行う。</p> <p>(3) 専修学校19校が、夏休み等を実施する高校生等を対象とした体験講座、オープンキャンパスとは異なる、基礎レベルの知識・技術の習得を目標としたものに加え、働くことについて意識付けを行う内容を盛り込んだプログラムを開発する。</p> <p>(4) ニートに再チャレンジの機会を多く提供するため、工業、農業、医療、衛生、教育・社会福祉、商業実務、服飾・家政、文化・教養の8分野29講座の多様な体験講座を開講して、ニートに自分に合った職業を発見してもらう。</p>			
2. 事業の実施に関する項目			
①カリキュラムの概要（目的・科目数・内容・期間）			
<p>職業に興味を持ち、自分がどのような分野の職種に就きたいかを体験できる教育カリキュラムを開発した。また、近年の若者層における実体験の少なさをカバーするため、業界や分野の理解を増すための実践的な体験型教材を用いた。</p> <p>●開設講座数 : 26講座 ●総授業時間数 : 223時間</p>			

- 開設期間 : 平成21年7月1日～平成22年2月16日
- 応募者数 : 90名
- 受講者数 : 74名

実践的教育プログラム	講座開催日数	総授業時間数	応募者数	受講者数	修了者数
1. 建築 CAD 講座	8	16	3	3	3
2. ロボット製作実習講座	1	3	7	6	6
3. 3次元 CG 制作講座	4	12	7	5	5
4. IT 関連技術者講座	3	9	2	1	1
5. ゲーム制作講座	2	6	1	1	1
6. CAD オペレーター講座	1	2	2	1	1
7. CG クリエーター講座	2	6	4	4	4
8. 電気・電子講座	3	6	1	1	1
9. ビデオ編集講座	3	6	3	2	2
10. 電気工事配線講座	1	2	1	1	1
11. 形質転換実験講座	3	9	1	1	1
12. アクアリスト体験講座	2	6	4	3	3
13. 花と緑の仕事体験講座	3	9	2	2	2
14. 化学・バイオ体験講座	1	3	1	1	1
15. 介護・福祉仕事体験講座	4	10	5	5	5
16. 保育士の仕事体験講座	1	2	1	1	1
17. 福祉の仕事体験講座	2	5	2	2	2
18. 医療・保育・心理の仕事体験講座	2	6	3	3	3
19. リフレクソロジー講座	4	20	1	1	1
20. アロマセラピー講座	2	10	2	1	1
21. シェフ&パティシエ仕事体験講座	4	12	7	7	7
22. 経理事務体験講座	7	21	14	9	9
23. ソーイング I 体験講座	8	20	2	2	2
24. ファッションデザイン I 体験講座	6	12	2	2	2
25. ジュエリー体験講座	1	2	3	2	2
26. デザイン体験講座	2	8	9	7	7

②受講者の募集方法（手法・期間・効果）

(1) カウンセリングでの活用（事業期間中を通じて実施）

通常の相談時間において自立支援アドバイザーから体験講座の案内をし、社会参加の第一歩として、より多くの体験講座に参加することを啓発した。

(2) チラシにより広報（平成21年7月22日から）

大阪府内の就労支援窓口、区役所、市民センター、図書館、民間の就労支援機関等、約200ヶ所にチラシを送り、ポスターの掲示を依頼した。

(3) 高等学校への広報（平成21年7月22日から）

大阪府内約270の高等学校進路指導担当者あてにチラシ、ポスター、パンフレットを送付した。また、高等学校進路指導担当者の総会において、本事業の案内を実施した。（出席者約200人）

【効果】

社会体験の乏しいニートの対象者に対する参加啓発ができ、カウンセリングの中でも重要なツールになった。また、各専門学校の講座内容が一覧できるパンフレットの配付によって、体験講座の受講を検討する利用者の興味が、より喚起されたといえる。

③受講者の状況

受講者38人の内訳は下記のとおりである。

男性23人、女性15人

年齢層は20歳未満2人／20～24歳11人／25～29歳14人／

30歳以上11人

カウンセリングを受けている段階では、全員、ゆるやかな求職活動中で、定職に就いていない状況であった。

④受講者の意識調査等

受講者満足度は下記のとおりであり、大満足、やや満足が95.8%という結果となった。

大変満足：35人（48.6%） やや満足：34人（47.2%） 普通：2人（2.8%）

やや不満：1人（1.4%） 大変不満：0人（0%）

大変満足と答えた主な理由

- ・製作時色々工具・部品の名称を知ったし、作ることも楽しめました。
- ・適切なアドバイスを手取り足取り親切に教えてもらって良かったです。
- ・少々複雑だったが完成すると楽しい。
- ・分かりやすく丁寧に授業をされているし、生徒に対して思いやりが伝わる。
- ・仕事の流れが分かったのも、とても良かった。
- ・アロマにこの講座を受ける前以上に興味をもってこれからの進路にとっても役にたった。

た。

・家庭では触れることができないプロフェッショナルなマシンで商品さながらのミシ掛けができたのが楽しかった。

「専修学校の授業は楽しかったですか」の問いに対する結果は下記のとおりであった。
楽しかった：60人（83.3%） 普通：12人（16.7%）
楽しくなかった：0人（0%）

⑤受講後の状況（修了者数・就職率）

カウンセリングを受けたニートの全てが就職希望者であり、就職活動を行っているが、近年の経済不況の影響から雇用情勢も極めて厳しい状況が続いている。相談者56人の内、就職8人（全て非正規雇用）、大学進学1人、専門学校進学3人、公共訓練受講者1人で、残り43人は現在も就職活動を行っている。

3. 事業の評価に関する項目

①当初目的の達成状況

自立支援アドバイザーの相談時間は11人で315時間を計画していたが実績は355時間となり、ほぼ計画どおりであった。

専修学校での体験講座受講者は50人の計画に対し、受講者74人（応募者90人）と計画を大きく上回った。これは、自立支援アドバイザーがニートに対して、キャリア形成に向けた専門学校の職業教育を受ける機会を拡大する必要性についてアドバイスし、理解を得たものと考えている。

②事業の成果及び改善点

NPO団体等の協力を得て平成19～21年度の3年間事業を実施し、ニートが希望する職業に就くためのアドバイスや専修学校での体験講座を実施したが、雇用環境の急速な悪化等の影響で、就職に直接つながったケースが非常に少ない結果となった。今後は、行政等と連携し新たなニートを支援する事業を展開する必要があると考える。

③次年度以降における課題・展開

平成21年度事業終了後、連絡協議会において事業検証を基にニートに対するこれからの効果的な支援のあり方を検討し、多様な分野の専修学校が参加した就労の第一歩を達成させるための自立支援を図る教育プログラムを開発して行く。

④成果の普及

平成19～21年度の3年間で各専修学校が開発した教育プログラムについては、参加者に好評であったので、今後も専修学校での体験型講座の授業で活用していく。